

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION



NO.107

www.jsaf.or.jp



ASTRON
GPS
SOLAR

SEIKO

お問い合わせ先: セイコーウォッチ お客様相談室 0120-061-012 (9:30~17:30土・日・祝日除く)

JSAFからのメッセージ

セーリング・シーズン真っ盛り

■セーリングスポーツは、ジュニアからシニアまで、ディングリー、ウインドサーフィンから大型艇まで、一層チームレスなスポーツになりつつあり、世代間を超えて普及につなげていきたいと考えています。

■とくに2020オリンピック・パラリンピックが決まり、50数年ぶり2度目の日本開催であり、全国のセーリング関係者の協力を得て成功するよう尽力していきたいと考えています。

■加盟する団体や会員の方々には、JSAFの三本柱である「普及・文化・勝利」のいずれかの分野で、それぞれの活動を活性化していただきたいと願っています。

■セーリング・シーズン真っ盛り、海に出よう！
安全を第一に、風や波や潮を相手にセーリングスポーツの醍醐味を楽しみましょう。



JSAFのホームページが新しくなります

1999年に旧ヨット協会と旧外洋帆走協会が統合して日本セーリング連盟(JSAF)が誕生しました。発足以来ご利用いただいていたホームページですが、このたび時代の趨勢に合わせてリニューアルいたします。新しいホームページは6月30日から稼働します。新たなJSAFホームページを体験してください！

<http://www.jsaf.or.jp/>

なお、新ホームページへの情報のご提供は contents@jsaf.or.jp へお送りください。



素敵なおもてなし

オンザリッツ



ヤマザキナビスコ

ナビスコ及びリッツはモンデリーズ・インターナショナルグループにより使用許諾されている商標です。

沖縄-東海ヨットレース2014 〈KLCベンガル7〉 2連覇を飾る!

3回目を迎えた沖縄-東海ヨットレースは4月29日12時に沖縄をスタートし、5月5日18時19分に最終艇がフィニッシュした。

豪の90ft艇〈LAGAMUFFIN 90〉の参加、Wハンドクラスの成立、そして〈KLC Bengal 7〉の2連覇と話題豊富なレースだった。

レポート/森岡 稔夫 (レース実行委員長)

沖縄-東海ヨットレース 2014 総合成績

- 1位 KLC BENGAL 7
- 2位 RAGAMUFFIN 90
- 3位 SLAINTE MHATH
- 4位 THETIS-4
- 5位 K.CONTESSA KAZE TO NIJI
- 6位 GEFION
- 7位 1122 TREKKEE
- 8位 GUST
- 9位 ROSCHANA
- 10位 MONDAY NIGHT
- 11位 SASHIBA 5
- 12位 CALIPSO
- DNC KIH0

<http://okinawa.toscrace.jp/>

参加艇〈MONDAY NIGHT〉のナイトセーリング艇上。
オーバーナイトレースならではの時間だ(写真/中嶋一成)



2連覇を成し遂げた<KLC Bengal 7>のフィニッシュ直前(写真/J-SAILING)

沖縄-東海ヨットレース2014

3回目の開催

2010年の第1回レースは風がなく、豊後水道へ入っていく艇、和歌山の勝浦港へ入ってしまう艇などリタイア艇が多かった。

2012年はメイストームの中、事故でリタイア艇が続出し、落水事故もあって今後のレース開催が危ぶまれた。海上保安本部から「14艇中5艇のリタイアは問題ではないか?」と言われ、ここで止めたら国内での外洋ロングレースは2度とできなくなる、と責任を感じた。しかしフィニッシュした選手から「絶対に止めないで!」の声が届き、3回目の開催に至った。

多彩な参加艇

レース実行委員会は2013年4月に立ち上げた。

8月のレース公示発表後、エントリーが思うように伸びず、一時は最低開催艇数10艇に届かないのではと心配した。協賛社集めも前回のようにはいかず、予算的な苦しさも味わった。

しかし、蓋をあけると、前回参加した7艇がエントリーし、さらに6艇が新たに申し込んできた。

外洋津軽海峡の「貴帆」が最初のエントリーとなった。

外洋三崎の「H22 TREKKEE」が2番手だった。前回「事故にめげずには是非、次回もやってください」と念を押して帰っていかれたオーナーの新田さんの言葉を思い出した。

早々のデイフェンデング宣言は「KLC Bengal 7」、今年こそは無事故で完走したいという思いの「Monday Night」、そして1回目に優勝した「GUST」のオーナーは自分がラットを握って優勝したいと、3回目の申し込み。

沖縄からは、毎回出場場の「SASHIBA

5)」。新たに外洋内海から「Sainte Mhath」、外洋三崎から「K Contessa 風と虹」、外洋三崎から「Geflon」。そしてWハンドクラスには3艇のエントリーがあった。

兵庫県の「ROSHANA」の船籍はイギリスである。大阪の「CALPISO」。そして第1回、2回とフルクルーで出場した東京の「Hedge」の3艇である。もし、風が前回の様に吹いたらと心配になったが、昔は「メルボルン・大阪Wハンドレース」があったではないかと腹をくくった。実際のレースではフルクルーと変わらない走りを見せてくれた。これからもどんどん参加していただきたい。

締め切り間際に国外からの問い合わせがあり、参考としての英語版レース公示を急いで作った。レイトエントリーで申し込んできたのはオーストラリアの「LAGAMUFFIN 90」だった。これで13艇のエントリーとなり、前回とほぼ同数の申し込みとなった(残念ながら1艇は回航ができずDNCとなった)。

注目を集めた

<LAGAMUFFIN 90>

<ROSHANA>と「LAGAMUFFIN 90」の参加でこのレースも多少、国際的になった。「LAGAMUFFIN 90」はデザイン3500マイルが可能であり、同艇の参加でこのレースに興味を示してくれる人が増えるだろうと思っただ。

<LAGAMUFFIN 90>のオーナーはアメリカスカップでも有名なシド・フィッシャー氏、87歳。とても年齢を感じさせない方だ。フィッシャー氏は艇長として安全講習会や艇長会議・前夜祭にも出席された。

初めて「LAGAMUFFIN 90」を見たのは、その大きな速い船の姿に

した。50ftクラスが小さく見えた。スタートすると、瞬間に見えなくなってしまう。熊野灘でカームに捕まったが2日と14時間30分47秒でファーストホーム。コースレコードだ。

フィニッシュ後、蒲郡港に舫いをとったのは明け方の3時。疲れているはずなのに、ラグナマリナーヨットクラブ(LMYC)が準備した歓迎会に全乗員18名が参加してくれたのは感激である。また5月5日に開催されたLMYC主催のウェルカムパーティにも出席していた。ヨットレース全体に対する考え方の違いを感じ、真のヨットマンだと思った。「次回も是非とも参加してください。それも100ftの「LAGAMUFFIN」で!」と声をかけたが、了解をいただけているかどうか判らない。

次回が楽しみである。しかし、これが実現すれば、真の国際化に向けての一步になるだろうと想像できる。

<KLC Bengal 7> 優勝

4月25日、外洋東海の川合紀行、大島茂樹、JSAF外洋部会の角晴彦計測委員長の3人が宜野湾港マリナーの管理棟内にレース本部を設置する。荷物の整理、のほり旗の設置等をインスペクションの合間を縫って行う。

外洋沖縄の徳田事務局長とスタッフの方々が手伝ってくれた。徳田さんは沖縄側の交渉や事前準備すべてをやっていた。感謝である。

私も4月26日に宜野湾入りをし、レース艇の位置情報等を発信するyellowbrick(以下YB)の準備をする。安全講習会、艇長会議は外洋沖縄のメンバーを中心に準備をしていただいた。

4月29日12時、7~8mの北西の風、波高1.5~2.5mの中、12艇が蒲郡へ向けていっせいにスタートした。「LAGAMUFFIN 90」があっという間に



異次元の走りを見せた<LAGAMUFFIN 90>のスタート直後 (写真/JSAF・寺澤寿一)



Wハンドクラス優勝の<Thetis-4> (写真/JSAF・寺澤寿一)



クルーザークラス優勝の<K.Contessa 風と虹> (写真/JSAF・寺澤寿一)



美酒のための琉球グラスが記念品として選手に配られた (写真/中嶋一成)



優勝した(KLC Bengal 7)の邸瀬オーナーとファーストホーマー(LAGAMUFFIN 90)のシド・フィッシャー氏 (写真/中嶋一成)

に先行するのを見てレース本部を撤回し、帰路の準備をする。翌日、午前中の便で中部に戻り、早速、蒲郡のラグナマリーナのレース本部に入る。

レースの展開はYBで常に監視した。たまに電波の関係か画面上で止まる艇があるが、ロールコールでも確認できるから安心だ。しかし、ホームページを見ている人はしばらく動かないと心配になるらしい。時々「大丈夫か？」と問い合わせがあった。レースの監視や楽しみ方もずいぶん変わったものだ。

レースは「LAGAMUFFIN 90」が圧倒的な速さでフィニッシュかと思えた。しかし、熊野灘を通過した頃から黒潮の反流に捕まったかカームに入ってしまった、ペースが落ちる。そこに「KLC Bengal」が猛追するも、やはり熊野灘沖で苦勞した。「GUST」も「Monday

」がそれに続く。一時は「GUST」の総合優勝もあるかと思ったが、前の艇に誘われるように熊野灘あるいは志摩半島沖の風がないところに入り、苦勞したようだ。レース艇もYBを見ていると思うが、なぜか同じコースをたどっていたようだ。

結果、62時間30分47秒というコースレコードを樹立した「LAGAMUFFIN 90」の約16時間後にフィニッシュした「KLC Bengal」が総合優勝を飾り、2連覇を達成した。

フィニッシュし本部へ帰着申告に来る選手は二様に日焼けをし、「あー疲れたー、でも楽しかった」と言ってくれる。レースを開催する以上はもっとたくさんの人に参加してもらい、楽しんでいただきたい。これが私たちが実行委員会の願いである。

今回は早朝・夜間・深夜のフィニッシュの連続で、約半数が暗闇の中のフィニッシュとなり、運営側を悩ませ、ずいぶん徹夜もした。

前回の事故のことが常に頭にあり、最終艇の着岸を確認するまでは気が抜けなかった。5月4日までに12艇全艇がフィニッシュし、心底ほっとした。

◎ 優勝トロフィーは前回と同じ琉球ガラスで制作した。「いいレースができればそれだけで良い」と言う人もいるが、後日の思い出にカップは必需品と思つて、記念となるロゴ入りの琉球グラスにトロフィーと同じ色づけをした。フィニッシュ後に水を入れて、おいしい泡盛を味わっていたきたいという思いからだ。私もこのレースが続くことを考えながら、このグラスで美酒を楽しんだ。

〈KLC ベンガル7〉優勝記

外洋セーラーとして 願いたいこと

レポート/原健 (チームベンガル・ウォッチキャプテン)



2連覇を果たしたチームベンガルの面々 (写真/中嶋一成)

前半戦はレーティング通りの配列となり、〈KLC ベンガル7〉は2番手で〈ラガマフィン90〉を追走し、レースは順当に進んでいった。ジブからジブトップ、そしてコード0とセールチェンジした。しかしコード0を破損してジブトップに交換を余儀なくされる。

潮岬に近づいた頃、風が後ろに振られて、初めてジエネカーを上げる。〈ラガマフィン90〉がカームにつかまったらしきことをイエローブリックが伝えていた。ほとんど差が詰まっていたその時、ついに我々もそのわかっていたはずのカームにつかまった。すると〈ラガマフィン90〉は動き始め、ガストが迫ってくる……約12時間あまり、天国から地獄に突き落とされたような気分、風を呪いながらも必死に探し続けた。そして翌朝、やっと微かな陸風をつかまえて大王崎を通過した。

しかし5月2日の夕暮れを過ぎるとまた伊良湖水道でカームにつかまってしまう。そして〈ラガマフィン90〉という大魚を逃すかに見えたのだが……天が味方した。

神島を過ぎ、まるで風の境界線のようなところで北西の陸風をつかまえて三河湾に突入したのだ。綺麗な夕暮れが待っていた。湖のような平水面を滑るように進んで行った。必死でハイクアウトするクルーたちには笑顔が戻っていた。そしてイエローブリックは〈ガスト〉以下がカームにつかまっていることを伝えていた。

各艇にとって意義ある結果

今回の沖繩・東海レースでは、前半戦はレーティング通りのスピードレースとなった。しかし、潮岬に接近した時点で広範囲に生まれたカームにほぼ全艇がつかまって仕切り直しとなった。そのカームにどの地点でどのくらい長くつかまるか、が勝敗の分かれ道となった。

総合順位を見ても〈KLC ベンガル7〉が〈ラガマフィン90〉を破っただけでなく、6位以内にタブハンドクラスとクルーザークラスから3艇が入り、レーティング通りの決着だけではない面白さが証明された。このことは今後のこのレースにとって意義のある結果ではないだろうか。

ハイテク化が進むナビゲーションシステムではあるけれど、今回のレースはナビゲーター泣かせであり、またナビゲーターの腕の見せ所でもあったと言える。その点では、気象予報士であり高校、大学でティンギーに乗り、6度のトランスバックと一昨年のシドニー・ホバートを経験したチームベンガルのナビゲーター森治彦はチーム生え抜きのクルーとして熟成し、素晴らしい努力とパフォーマンスを見せた。

外洋レースの達成感と満足感

全レース艇がフィニッシュした5月5日のウエルカムパーティーに、数度のアメリカ杯挑戦で知られ、現在も現役で1000斤とTP52と合わせて3艇のレース艇を所有する、御年87歳で〈ラガマフィン90〉のオーナーであるシド・フィッツチャー氏がクルー数名を連れて訪れた。

一昨年のシドニー・ホバートでは氏の所有するマリナーに一月間にわたってお世話になっていたチームベンガルは、その後もチームラガマフィンの親交が続く、邨瀬オーナーが今回の沖繩・東海レースへの参加を勧めた経緯があった。

邨瀬オーナーに歩み寄り、勝利を讃えるフィッツチャー氏の姿を見ながら、このレースがチャイナシーレーンなどに匹敵するアジアの外洋レースになっていく可能性を感じたのは私だけではないはずだ。

「千里の道も一歩から」の言葉のごとく、長年にわたって外洋レースの道を確実に歩み続けてきた邨瀬オーナー率いるチームベンガルの今回の勝利は、日本の外洋レースがまた新しいステージに向かう記念すべき勝利となっしてほしいものだ。

世界的にロングディスタンスの外洋レースが衰退傾向ではあるけれど、外洋レースにはブイレースでは決して味わうことのできない達成感や満足感がある。今後も参加艇が増え、日本を代表する国際外洋レースとしてこの沖繩・東海レースが発展していくことを、一人の外洋セーラーとして願いたい。

格別の勝利

夕暮れ時のフィニッシュは最高に気持ちのいいものだった。ましてや〈ラガマフィン90〉を修正で破る時間にフィニッシュしたのだから……

今年の沖繩・東海レースに総合優勝2連覇を果たした〈KLC ベンガル7〉は、蒲郡のラグナマリナ沖のブイを5月2日の18時43分9秒に通り過ぎた。所要時間78時間43分9秒で、クラス、総合ともに2位となった〈ラガマフィン90〉に対し、修正時間で約3時間弱の差をつけての優勝だった。

今回の優勝は2年前の優勝が原点となって

熟成してきたチームにとっては、また違う味わいのある勝利だったのではないだろうか。

2010年の第1回大会でチームベンガルはその年の台風で艇中当時は46斤を破損したために参加が叶わず、悔しい思いをした。その後、シドニー・ホバート2012に参加

のために乗り換えることになった現在のハンフリー54斤を進水させて臨んだ2012年第2回大会では、後半に遭遇した40ノットを超える烈風によって艇体の多くを破損し、多量の漏水に見舞われ、まさに満身創痍でのファーストホームと総合優勝を果たした。

以降、シドニー・ホバートとトランスバックに参加するため艇の改良が進められた。そして約10カ月、2万マイルあまりの航海を乗

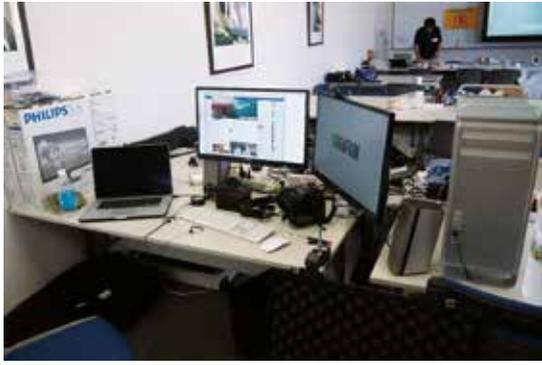
り切り、無事西レースに参加を果たした。

今回の沖繩・東海レースは2年という長い時間をかけてできる限りの準備をし、チームとして自信をもってレースに向かい、その結果がついてきたという意味で格別の勝利だった。

それに加えて、異次元に感じられた〈ラガマフィン90〉を修正で破ったことは大変価値あるものだった。

綺麗な夕暮れが待っていた

レースはスタートから順風前後の上りからリーチングで、シドニー・ホバート仕様の〈KLC ベンガル7〉が得意の風域、風角となった。



沖縄-東海ヨットレース 広報活動のストラテジー

今回の沖縄-東海ヨットレースは広報活動が充実していた。
その舞台裏を本レース広報委員長に明かしてもらった。

レース本部内に設置された広報チームの作業場 (写真・神野富三)

沖縄-東海ヨットレースは、少数のスタッフと限られた予算の下で開催されている。そこで私は第1回大会から下記に絞って広報活動を行ってきた。

- ◎外洋ヨットに乗っている人、あるいは興味がある人に情報を提供する。
- ◎広報媒体をインターネットに限定し、SNSにより情報拡散する。

3回目となる今回はこれらに加え、yellowbrickが提供する航跡情報(15分ごと・リアルタイム)へのアクセスが非常に多いことから、求められている情報は「よりリアルなもの」であると考え、「映像がほしい」という実行委員長の強い要望もあり、下記の2点を追加した。

- ◎ムービーを制作する。
- ◎よりタイムリーに伝える。

具体的には、以下のような方策を取った。

■公式ホームページ

「公示」に準じる位置づけで運用した。各委員会等から送られてくる情報をスピーディに更新し、情報のありかがわかりやすいことに留意した。同時に更新したことをFacebookでアナウンスし、航跡情報をはじめ動画サイト、Facebookなどへのリンクはすべてトップページに集約した。

■公式 Facebook ページ

チーム(艇)がFacebookページ(以下FB)を持っていない場合、エントリーが受理されるとすぐにチームに連絡を取り、この機会にFBを作成していただくことをお願いし、元々FBを持っていた艇も含め10艇がFBを運用してくれた。

各艇が準備や回航の記事をアップすると、すべてフォローしている私はすぐにそれに気づく。内容を読み、数行のキャプションを加え、公式FBにシェア(転載)する。これにより公式FBをフォローしている人たちは、10艇の参加艇に関する鮮度の高い情報をタイムリーに知ることができるといった仕組みだ。スタートに向けて、参加者のみならず、周辺の人々も期待感が高まっていったと思う。

■公式 YouTube チャンネル

宜野湾はどんな所? 参加している人はどんな人たち? 艇長会議って? ヨットレースのスタートって? そんな疑問に答えるため、合計33本のムービーを制作、掲載した。一部を除きほとんどのムービーはレース本部と行動をともにして撮影し、現地で制作(編集)しながら、順次アップしていった。

ムービーを多用したいと考えたのは、ヨットを知らない人たちに外洋レースがどのようなものかを知ってもらいたい、という理由もある。レース参加者たちの「(映像の)おかげで家族にわかってもらえた!」という言葉が象徴するように、これが外洋レースの認知度なのだ。

■ムービー制作体制

ムービーに関しては以下のスタッフで臨んだ。

- インタビュー&オンボード撮影・編集 / 中嶋一成 (Layline Media)。
- 陸上&カメラポート撮影・編集 / 青木聖也 (GRAFILM)。
- GoPro 設置 / 藤平浩史 (PLUSTON)
- 企画・構成・制作 / 神野富三 (株式会社映像設計)

2人のカメラマンとは個人的にFBを通じて知り合った。

今回の映像について相談を持ちかけるうちに、中嶋さんはセーラーとしての十分な経験がある上に英語も話せ、しかも抜群の「コミュニケーション力」を持つ。百戦錬磨のオーナーやスキッパーを取材できるカメラマンは彼をおいて

いないと感じた。

一方でとにかく外洋ヨットをカッコ良く見せたいと考えた私は、青木さんの映像美への情熱と若い足腰(ポート上での撮影に必須)がきっと成果を出すことを確信した。

正式に協力を求め、打ち合わせを重ねた後、2人には対象とテーマ、狙いを伝え、私は様々な意味での制作環境の整備、タイムリーな公開に心を砕いた。

制作したムービーの内容に関しては現在も公開しているYouTubeチャンネルを参照されたい。

■スピード勝負

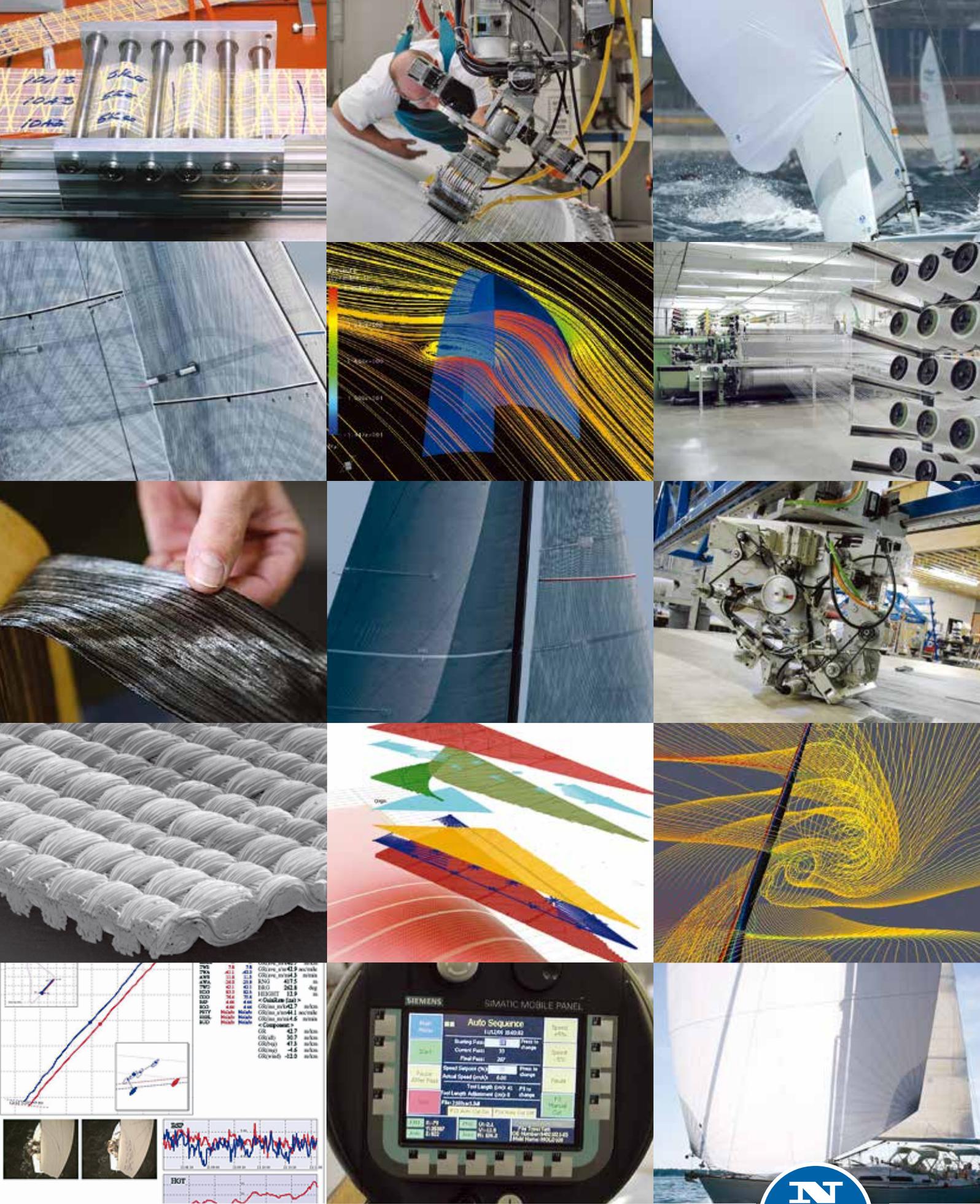
中嶋、青木両氏にはどの映像も時間単位で期限を決めて編集を上げるよう求め、仮編集映像はサーバにアップして共有した。即座にチェック、修正打ち合わせができるよう私を含めた3人はノートPCをワイファイ環境の下に常時携帯した。しかし情報量の多い映像や、レース進捗に関する情報などの拙速な内容チェックは問題を見逃す恐れがあり、レース運営全体に迷惑をかけるリスクがあったことは、今後の課題としてみなさんにも参考にしていただきたい。

以上、紙幅が限られているため、書けなかったことがたくさんあります。興味がある方はFBでメッセージを送ってください。(神野富三/レース実行委員会広報委員長)



レース情報はホームページ、Facebook、YouTubeで発信された(資料提供・レース実行委員会)





最先端の技術で、優れた性能のセールをお届けします。



Better by Design

Yokohama 045-770-5666 Kansai 0798-26-7771 Hokkaido 0134-25-3227

www.jp.northsails.com

土居愛実選手、堂々の3位!



3位を決めてニコリの土居選手

JSAF ナショナルチームの土居愛実選手（慶應義塾大学）が、Delta Lloyd Regatta 2014（5月18日～24日、オランダ・メデンプリック）で堂々の3位に入りました。

以前はSPAレガッタと呼ばれていた本レガッタは、EUROSAF Champions sailing cupのシリーズの一つです。

今回、26艇が参加したレーザー・ラジアル級にはロンドンオリンピックの銀メダリスト（オランダ）、銅メダリスト（ベルギー）、昨年の世界選手権準優勝者（フィンランド）、1997年ワールドチャンプ（ベラルーシ）、2012年ヨーロッパチャンプ（スペイン）をはじめ各国のトップ選手が参加していました。

そんな強豪がひしめく中で、土居選手は気負わずにのびのびと走り、最終日のメダルレースで逆転して3位となりました。（レポートと写真/JSAFオリンピック強化委員会）

レーザー・ラジアル級トップ3

- 1位 Marit Bouwmeester
（オランダ、ロンドン五輪 銀メダリスト）
- 2位 Van Anker Evi（ベルギー、同上 銅メダリスト）
- 3位 土居愛実（日本）

江の島 湘南港ヨットハウス オープン

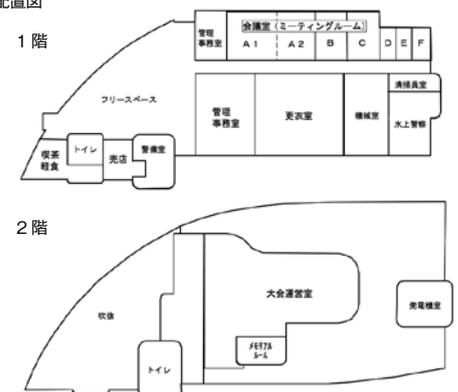


周囲はまだ、工事中の雰囲気が漂っているオープン当日の湘南港ヨットハウスの外観

立面図



配置図



ヨットハウスのレイアウト図

1964年の東京オリンピックの競技会場としてオープンしたのが神奈川県・江の島にある湘南港です。以来50年が経ち、敷地内にあるヨットハウスの老朽化が目立ち、耐震性も低いため、昨年から新しいヨットハウスが建設されていました。そして去る6月1日、「江の島 湘南港ヨットハウス」として新しい建物がオープンしました。

場所は旧ヨットハウスの隣りです。

県民に開かれた公共ヨットハーバーを標榜する湘南港ですが、新ヨットハウスはセーラーのためだけでなく、観光資源のひとつとしても機能することを期待されており、マリニショップやレストランも入っていま

す。また、屋上、そして船具庫上には津波の際の避難スペース（高さ約10m）が設置されています。

オープンの6月1日、神奈川県民セーリング大会の開催で湘南港は大賑わいとなっており、新ヨットハウスも艇長会議の場として活用されていました。旧ヨットハウスと同様、セーラーにとってはなくてはならない場所になりそうです。

問い合わせ先
湘南港指定管理者 株式会社湘南なぎさパーク 0466-22-2128

Full Speed Ahead

Carrying dreams, Carrying the future

子供たちの未来が輝かしいものであって欲しい。そのために私たちは運び続けます。
ヒトやモノを運ぶことが、夢を運ぶことにつながると信じて。船だからこそできること。
商船三井だからこそ、できることがあります。 www.mol.co.jp

MOL 商船三井

CATCH THE WIND

YAMAHA
SAILING CRUISER
&
DINGHY SERIES



●お問い合わせは
◎ディンギーヨット / オクムラボート 販売株式会社 〒671-0111 兵庫県姫路市の形町の形2013 tel.0792-54-5630 <http://www.okumuraboat.co.jp>
◎クルザーヨット / ニュージャパンヨット株式会社 〒421-0502 静岡県牧之原市白井7-9 tel.0548-54-0221 <http://www.njy.co.jp>

NYYC インビテーションショナルカップの JSAF 代表チームを公募します

ニューヨークヨットクラブ (NYYC) が主催するインビテーションショナルカップは、同クラブが世界中から有数のヨットクラブを招待する形式のレースです。

レース海域は米国東海岸ニューポート。1983年までアメリカズカップが戦われた、伝統あるヨットレースの聖地です。レース艇にはクラブが所有するワンデザイン艇 Swan42 が使用されます。

日本の JSAF チームは第1回大会 (2009年) 3位、第2回 (2011年) 6位、第3回 (2013年) 6位と好成績を挙げており、第4回となる2015年大会にも NYYC から JSAF へ招待状が届きました。

そこで、JSAF ではこのレースに参加する JSAF 代表チームを公募いたします。

レース日程は 2015年9月12日～19日です。

レースの詳細情報は NYYC ホームページをご覧ください。

<http://www.invitationalcup.org/yachting/invitational-cup/2015-invitational-cup>

【JSAF 代表チーム選考基準】

- スkipper 及びクルー全員が JSAF メンバーであり、出場資格のアマチュア規定に準ずる。
- レース艇はチャーター艇で、乗員は11名。そのうち1名はチャーター艇オーナー側のクルーが乗り込むが、残る10名のうち2名は10代後半から20代のセーラーとする。
- 大会出場に関するすべての費用 (概算600万円) を負担できるチームとする。

【選考方法 (予定)】

- チーム単位でのエントリーとする。エントリーが2チーム以上の場合は、協議のうえ選考する。

【エントリー締切日】

2014年9月末日までに、申込書及びチームの概要がわかる書類を添えて、JSAF 事務局へ提出のこと。

【問合せ先】

JSAF 事務局

寺澤寿一

〒150-8050

渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

TEL 03-3481-2357 FAX 03-3481-0414

E-Mail:head@jsaf.or.jp



前回、JSAF チームは6位に入った (Photo by Junichi Hirai)

環境コンテスト2014 -残したいのはきれいな海-



2020年東京にオリンピック・パラリンピックがやってきます。世界中の海で参戦してきたセーラーが日本にやってきます。少しでもきれいな海で大会を開催したいものです。

JSAF では「残したいのはきれいな海」をスローガンに、2013年に環境コンテストを立ち上げました。

環境保全、啓蒙活動のために今、自分たちで何をすべきかを独自に考えて頂き、その中から優秀なアイデア、企画に対し補助金を支給し、実現を後押しするというコンセプトです。

今回は「ストップ! アイドリング」ステッカーの作成、不要になったセールを日除け、バッグ等に有効活用する「リサイクルセールの活用」の2案が採択されました。JSAF ではその後も継続的にこの2つの活動の支援をしています。

海の環境を守るためには、海のみならず、海に注ぎ込む川、森林、陸地での環境保全、啓蒙活動も大切です。ひとりひとりが少し意識を変えればできる事はたくさんあるはず。この企画を環境について考えるひとつのいい機会と捉えていただき、今何をすべきか、どうぞ皆さんのたくさんのアイデアのご応募を御願い致します。(JSAF 環境委員会)

環境コンテスト2014 概要

環境大賞: 補助金10万円/件。3件まで。

応募資格: 私用な目的でなければクラブ、地域団体、大会等自由

応募方法: 応募要項に必要事項を記入の上 kanky@jsaf.or.jp 宛書面でご提出下さい。図、写真等を入れる場合には別紙添付でも可です。郵送の場合は JSAF 事務局「環境コンテスト」係までお願いします。

応募締切: 2014年7月6日(日) 必着

結果発表: 7月16日(水) 予定。代表者に直接連絡、及び JSAF 環境HP 上に発表。選ばれた企画は2015年1月末までにその企画を実行し、レポート、写真を提出していただきます。

*なお、結果は J-SAILING に掲載し、さらに受賞企画がどのように実行されたかを J-SAILING でレポートする予定です。

応募要項掲載サイト

<http://www.jsaf.or.jp/environment/index.html>



若洲の海の 親善国際大会

一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟 (JJYU) と東京都ヨット連盟の主催で、
5月3日～5日、東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所で行われた。

2020年夏季オリンピック・パラリンピックのセーリング競技が行われる若洲の海で、
開催決定後に行われる初めての国際大会だ。

レポートと写真/レース実行委員会

● 海外から8カ国が参加

チームはOP級2名、レーザー4・7
1名、監督の4名で構成されます。例年、
海外から4カ国を招待しますが、今年
はオリンピック開催決定を受けて10カ国に
招待状を送り、8カ国（イギリス、デン
マーク、ニュージーランド、シンガポ
ール、タイ、香港、韓国、中国）からOP
級22名、レーザー4・7 9名、監督コー
チ11名、保護者12名の総勢54名が集まる
国際色豊かな大会となりました。国内か
らは青森県から三重県まで15クラブ（O

● 指導者の責任を明確に

この大会は海外と日本のジュニアセー
ラーがセーリングを通して友情を育み、
国際感覚を身につけ、青少年の育成と
ジュニアヨットクラブの普及を目的にす
る親善レースです。事前の説明会でもこ
の点を説明し、出艇・着艇の申告は必
ず指導者が行う、抗議も指導者と相談し
てから行うなどの他レースとは異なる点
を説明しました。JJYUはクラブの指

P級53名、レーザー4・7 9名) が参加
しました。



風待ちの間、レーザー4.7に何人まで乗れるか挑戦する選手たち

NOTHING EXCEPT VICTORY

**PATTON
HARKEN®**

PATTON-HARKEN
Regatta watch

¥198,000 (税別)

www.harken.jp

ケン玉に興じる
ホンコン選手



レース会場にも
和やかな雰囲気が
溢れていた

初日に行われた練習レース



開会式のちょっと緊張気味の様子

今年にはシンガポールでのホームステイ先の選手が全員日本にきたのです。
一方、関水連が主催するタイクリニックにもJYUは選手を2名派遣しており、タイからも選手が日本に来て、日本と交流を始めているのです。本当の意味の国際交流や親善が実現しつつあるように感じました。

実は、JYUは毎年3月下旬に国際交流競技会の上位3クラブの代表選手3名をニュージーランドやシンガポールでの海外セーリング研修に送り出しています。現地ではホームステイをしながら現地の選手と一緒に練習するので、今年にはシンガポールでのホームステイ先の選手が全員日本にきたのです。

● **国際親善が実現しつつある**
日本の選手が海外選手と仲良く交流してほしいのが本大会運営の根底にあります。3日に行った国際交流会では日本の全クラブが海外チームにプレゼントを準備し、一緒にコマを回し、ケン玉交換を約束するなど、それぞれが準備した「おもてなし」で盛り上がりました。なかでも、茨城県セーリング連盟ジュニアヨットクラブの選手は手作りの紙芝居で自分のクラブを紹介し、神奈川県ユースヨットクラブの山本丘晃君が英語でスピーチをしたのはビックリしました。

● **五輪を意識のコーチ陣**
4日は晴天、5〜8mの風速に恵まれて素晴らしいレース日和でした。若洲独特の潮の流れ、川の流れも体験でき、海外のコーチ陣は東京オリンピックを意識して真剣にデータを取っていました。
最終日は風が落ちてレーザ4・7とOP級初級者クラスのレースだけが行われました。OP級初級者クラスはポンド内でレースをしましたが、岸壁には監督、コーチ、保護者が陣取り、大きな声援が飛びかいレースは盛り上がりつつありました。
イギリスチームの保護者から、「若洲の海はロンドンのテムズ川河口の海より澄んでいる」というコメントがありました。大会期間中にRYAのスタッフはレースや施設を見学し、東京都オリンピック・パラリンピック準備室の職員が視察に来たりと、レース以外でも賑やかでした。

5日の閉会式はハーバーで行い、OP級上級者優勝の藤本諒選手（江の島ヨットクラブジュニア）に文部科学大臣杯と奥村純雄杯が授与、OP級初級者優勝の大澤雄帆選手（葉山町セーリング協会）には国土交通大臣杯と小澤吉太郎杯、レーザ4・7優勝の渡辺桜香選手（江東区立小中学校セーリング部）には東京都知事杯が授与されました。

国内ジュニアヨットクラブ対抗レースは葉山町セーリング協会が優勝し、2位の江の島ヨットクラブジュニア、3位のYMF Sジュニアヨットスクール葉山に来年の海外セーリング研修派遣（シンガポール予定）の特別賞が授与されました。

国際交流ジュニアヨットクラブ対抗レースでは優勝のデンマークチームにJYU会長の特別杯と江東区長杯が授与されました。

最終日は風が落ちてレーザ4・7とOP級初級者クラスのレースだけが行われました。OP級初級者クラスはポンド内でレースをしましたが、岸壁には監督、コーチ、保護者が陣取り、大きな声援が飛びかいレースは盛り上がりつつありました。

イギリスチームの保護者から、「若洲の海はロンドンのテムズ川河口の海より澄んでいる」というコメントがありました。大会期間中にRYAのスタッフはレースや施設を見学し、東京都オリンピック・パラリンピック準備室の職員が視察に来たりと、レース以外でも賑やかでした。

夢にむかって・・・ セーリングのナショナルチームとユースチームを応援します!

ナショナルチーム・ユースチームの海外遠征の手配、
インド洋の楽園 セーシェルへのリゾートツアー、
障害者スポーツの海外派遣、
フランスへの個人語学留学の手配、
業務渡航その他、海外への各種渡航手配を行っております。

株式会社 **グロリア ツアーズ** TEL:03-6661-9080 (代表) <http://www.gloria-tours.jp>

$$\begin{aligned} C_X &= C_L \sin \gamma_A - C_D \cos \gamma_A \\ C_Y &= C_L \cos \gamma_A + C_D \sin \gamma_A \end{aligned} \quad (2)$$

なお、以下に示すヨーモーメント係数 C_{MZ} はマスト周りの値である(3分力計をマスト中心に取り付けたため)。船体データのヨーモーメントと比較するためには、これを船体中心周りの値に換算しなければならない。換算式は次のとおりである。

$$C_{Mz} = C_{Mz} + \frac{l_{mc}}{\sqrt{A}} C_Y = C_{Mz} + 0.247 C_Y \quad (3)$$

ここで、 l_{mc} はマスト中心から船体中心までの距離(模型スケールで0.147m)である。

7 「メインセール+ジブ」の性能

7-1 基本性能とヒール角による変化

メインセール+ジブの実験結果を以下に示す。風向 γ_A に対する前進力係数 C_X の変化を図7-1に、横押力係数 C_Y の変化を図7-2に、ヨーモーメント係数 C_{MZ} の変化を図7-3に示している。データが少しばらついてるのは、種々のセールトリムのデータを合わせて示している(ノ)

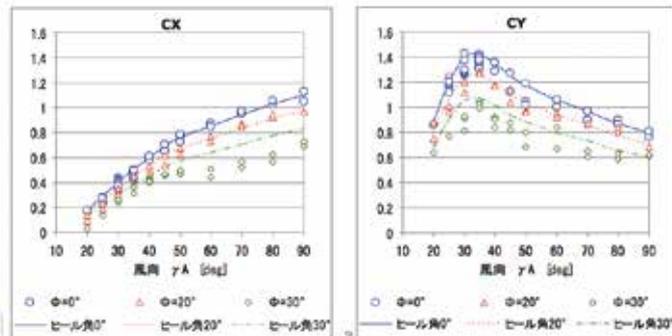


図7-1 風向 γ_A に対する前進力係数 C_X の変化

図7-2 風向 γ_A に対する横押力係数 C_Y の変化

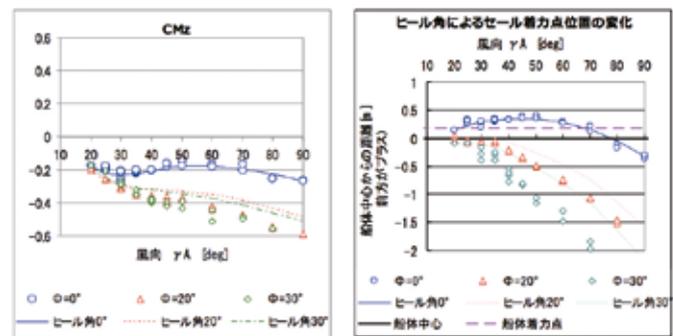


図7-3 風向 γ_A に対するヨーモーメント係数 C_{MZ} の変化(マスト周り)

図7-4 ヒール角によるセール着点位置の変化(実船スケール)

この C_{MZ} を C_Y で除することによって横押力の着点位置を求めることができる。着点位置を、実船スケールで船体中心からの距離で表したものを図7-4に示す。ヒール角が0°の場合は船体中心から前方0.2~0.3m程度の範囲であることが分かる。前回のレポートで、センターボードを真直ぐ下ろし、舵角を0°とした場合の船体の着点位置もほぼ前方0.2m程度(図7-4に示す破線)であったことを考えると、ほとんどジャストヘルムで釣り合っていることがわかる。しかしながら、ヒールすると図に示すようにセールの着点位置は後へ移動する。これに対して、船体の着点位置はヒールとともに前方へ移動する傾向があるので、艇は風上側へ回頭しようとする(ウエザーヘルムとなる)。これを釣り合わせるためにはティラーを引かないといけませんが、無駄な舵角は前報に示したとおり抵抗を増やす。したがって、ヒールをさせないことが速く走るためのキーポイントであることが理解いただけるであろう。

(以下次号につづく)

参考文献

[1] MASUYAMA, Y. and FUKASAWA, T., "Tacking Simulation of Sailing Yachts with New Model of Aerodynamic Force Variation During Tacking Maneuver," Transactions, SNAME, Vol. 119. 184-211, 2011.

こうすれば速くなる(かも)！ 470級の帆走性能を科学する④

「どうすれば速く走れるか」はセーラーの永遠のテーマである。学術的な側面からそのテーマを探求したレポートを掲載する。頭をクリアにして、お読みいただきたい。(編集部)

レポート/金沢工業大学 増山 豊

6 風洞試験

6-1 風洞装置とセール模型

470級のセール性能を明らかにするために、金沢工業大学の風洞装置を用いて模型試験を行った。実験に用いた風洞装置は吹き出し形で、通常は収縮ノズルが取り付けられており、吹き出し口が0.5m角の測定部となっている。本実験ではセール模型をできるだけ大きくするため、収縮ノズルを取り外して1.5m角の測定部として用いた。この場合、最大風速は約6m/sであり、測定部断面における速度分布は最大5%程度である。セール模型は1/6スケールであり、メインセールとジブ、

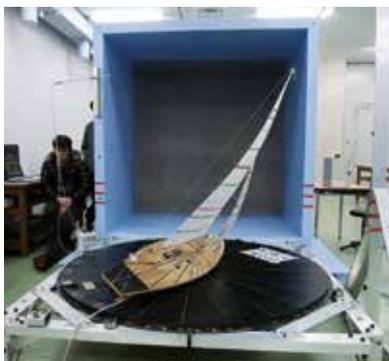


図6-1 「メインセール+ジブ」の風洞実験時の様子

ならびにスピネカーを組み合わせた状態で試験を行った。なおこれらのセール模型は、セールメーカーであるノースセール・ジャパン(株)が、実物大の形状に合わせて正確に製作したものである。

6-2 実験方法と実験条件

セールはマストを含む船体模型に取り付けた状態で、3分力計を用いて流体力を測定した。以下に示す結果は、船体模型のみ(マスト、ステー類なし)に作用する力を測定値から差し引いて示している。したがって、測定値にはマスト、ステー類に作用する力が含まれている。セール形状は、船体模型に取り付けた5個の小型モータをリモートコントロールで回転させ、シートを巻き取って調整するようにした。基本的に、推進力が最大になるように調整したときの流体力とセール形状を同時に採取した。セール形状は、マスト上部を含む複数の場所からデジタルカメラで撮影し、これらの画像データから3次元形状を求めるソフトウェアを用いて取得した。流体力の測定時は、風速を5.6m/sとして実験を行った。この時のレイノルズ数は、相当翼弦長を0.8mとすると 2.9×10^5 である。

6-3 計算式

セールに作用する流体力の関係を図6-2に示す。船首方向から γ_A の角度で風を受けている場合に、セールがTの力を生じているとする。この力を、風向とこれに垂直方向に分解すると、抗力Dと揚力Lが得られる。抗力Dと揚力Lは、セールの流体力学的な特性を表す上で重要なパラメータとなる。

一方、Tの力を、船体のx軸方向の推進力Xと、y軸方向の横押力Y

に分解することもできる。セーリングヨットが、風に対して斜め前方に向かって進むことができるのは、このX力成分があるためである。もちろん、そのためにはY力成分に負けないように、横流れを防ぐためのセンターボードなどの装置が必要になる。

また、Tはマストから少し離れた点に作用しているため、マスト周りに回転させようとする力(モーメント)Mzが生ずる。Mzは通常風上側へ回頭するように(ウェザーヘルム)作用する。本実験はポートタックで行っているため、Mzの値はマイナスとなる。(図中の矢印の向きは、プラスの方向を示している。)

これらの力とモーメントを次のように無次元化して示す。

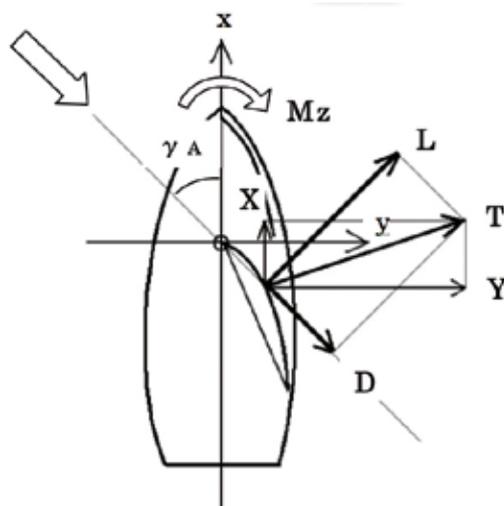


図6-2 セール作用する流体力の定義

$$C_L = L / (\frac{1}{2} \rho U_A^2 A), \quad C_D = D / (\frac{1}{2} \rho U_A^2 A)$$

$$C_X = X / (\frac{1}{2} \rho U_A^2 A), \quad C_Y = Y / (\frac{1}{2} \rho U_A^2 A)$$

$$C_{Mz} = M_z / (\frac{1}{2} \rho U_A^2 A^{\frac{3}{2}})$$

ここで、L:揚力 D:抗力 X:推進力 Y:横押力 Mz:ヨーモーメント ρ :空気密度(=1.2kg/m³) U_A :風速 A:セール面積(模型スケールで、メインセール+ジブの場合(=0.353m²)、メインセール+スピネカーの場合(=0.614m²)、メインセール+スピネカー+ジブの場合も同じ)

また、 C_L 、 C_D と C_X 、 C_Y の間には、船首に対する風向を γ_A とすると次の関係がある。

BOARD

ノースボード

映画「ターニング・タイド 希望の海」

セーリングシーンがふんだんに登場する映画「ターニング・タイド 希望の海」が6月28日から大阪、愛知で公開されます。

単独世界一周ヨットレース ヴァンデ・グローブを舞台に繰り広げられるストーリーを軸に、迫力あるレースシーンが続くこの作品、セーリングファンなら楽しめます。

撮影に使用したヨットは2012年に実際にヴァンデ・グローブで使われたヨット。3人のプロセーラーが操船を担当する中、18人ものスタッフが乗り込み、40日以上をかけて撮影を行ったと言います。

驚くのは主役のフランソワ・クリュゼ。昨年のヒット映画「最強のふたり」の車椅子に乗る主役とは同じ俳優とは思えないくらい、セーラー役がピッタリとはまっていました。

さて、映画の終盤、主人公はスタート地点にもどり大歓声で迎えられます。しかし、その後、セーリング界はどのような議論を交わしたのでしょうか。映画の後日譚として知りくなりました。是非、ご覧ください。



東京公開の際には白石康次郎さん(左)と作家&セーラーの鈴木光司さんのトークショーも行われた

「ターニング・タイド 希望の海」公開日・映画館

6月28日より

シネ・リープル梅田 (大阪)

名古屋ピカデリー (愛知)

7月5日より

みなみ会館 (京都)

8月2日より

札幌 ディノスシネマズ (札幌)

他、横浜、福岡をはじめ順次全国ロードショー予定

映画公式サイト

<http://turning-tide.com/>



QUANTUM SPINPAK™

実戦活用報告

(セイラーズ便り)

インショア、オフショアレース問わず
テークダウン・システムと相まって
苦手のスピンの上げ下げを克服。
もっと大きなスピンの上げ下げを克服。
もっと大きなスピンの上げ下げを克服。

Qスピンパックで解決 Quantum Racing Teamが開発

Quantumではこのルールに

対応できるだけでなく、

楽にスピンをプリセットできる方法を
実戦でテストし商品化となりました。

Qスピンパックは

ファーラーのように円筒状に収納し、
シートを引くことによって展開します。

必需品の登場です。

単体の商品ではなく本体に取付となります。

ISAF ルール55

(International Sailing Federation)

55 TRASH DISPOSAL



Quantum Japan

japan@quantumsails.com

www.quantumsails.com

www.wattsmarine.jp

(株)セイルス・バイ・ワッツ・ジャパン
本社ロフト

〒238-0233 神奈川県三浦市向ヶ崎町 8-40

電話: 046-882-5451 fax: 046-882-4319

関西営業所(新西宮 YH)

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 4-14-3

電話: 0798-23-6410 fax: 0798-23-6420

新しい加盟団体の紹介



〈葉山ヨットクラブ〉

葉山ヨットクラブは、日本ヨット発祥の地 葉山港 (あぶずり港) を基地とするヨット愛好家の集まりです。

葉山に最初にヨットクラブができたのは80年以上前になりますが、我々はその伝統を受け継ぐべく、日々努力を重ねております。

2006年には神奈川県知事所轄の特定非営利活動法人として登録し、現在は葉山港管理事務所内にクラブルームを設け活動しています。

活動としては、会員向けに各種クラブレースの開催、安全講習会などを実施していますが、その他、地元の家や港を舞台とする各種イベントに協力して、参加者の皆様に体験乗船の機会を提供するなど、地域との海洋文化の交流にも力をいれています。

また、葉山港は県が所管する施設であるため、葉山港の整備に関して、行政への提言なども行っています。

現在、会員数はクルーザーを中心として43艇(チーム)、273名ですが、会員一同、今後さらに発展することを旨として活動を続けております。

(NPO 葉山ヨットクラブ理事・桑本修一郎)



葉山ヨットクラブに届いた絵ハガキ

NOTICE



中嶋房徳写真展 日本丸 日米修好通商百年記念航海

1964年東京オリンピックのヨット競技公式写真記録を担当し、そして12メートル級時代のアメリカズカップで多くの印象的なシーンを撮影した中嶋房徳カメラマンの帆船に関する写真展が、2015年3月まで下記にて開催されます。

今回は、1960年の日米修好通商百年記念航海で日本丸に乗船した中嶋カメラマンが撮影した、航海中の実習や船内生活、公式行事など約30点の写真が展示されます。

中嶋房徳写真展 開催概要

会場：日本丸メモリアルパーク 帆船日本丸船内（横浜市西区みなとみらい）
開館時間：10時～17時（乗船は16時30分まで）



太平洋上の帆船日本丸（1960年、撮影／中嶋房徳）

EYC親子のためのヨットスクール募集

主催：（一社）江の島ヨットクラブ
主管：江の島ヨットクラブジュニア
日時：8月2日（土）10時～16時 オリエンテーション、陸上講習、海上ヨット体験
8月3日（日）10時～17時 海上ヨット体験
8月9日（土）10時～17時 海上ヨット体験
8月10日（日）10時～17時 海上ヨット体験／終了式

場所：江の島ヨットクラブ（ジュニア教室）
藤沢市江の島1-12-2 江の島湖南港（ヨットハーバー）

参加資格：小学校1年生以上高校生まで（&保護者。未経験可）
：4日間、親子ペアで2万円（教材費を含む。昼食代は含みません）
（1組2名以上の参加も可。お問い合わせください）

募集人数：25組／50名（先着順）

申込方法：江の島ヨットクラブジュニアのホームページにある「申込書」に記入の上7月26日（土）までにFAXかEメールでお申し込みください。

FAX：0466-23-2378 TEL：0466-22-0261
<http://www.enoshima-ycj.jp/>

その他：安全については最大限の注意を払いますが、スクール内外で発生した事故については、一切責任を負いません。ただし、参加者には、当方で一括して傷害保険に加入致します。また、昼食、飲み物、温かい衣類、防水カッパ、運動靴、日焼け止め、帽子、水着（初日から必要）などに加え、必ず着替えを用意してください。



<やまゆり>で開催された昨年の「親子のためのヨットスクール」

RESPECT THE ELEMENTS™

TEL: 06-6445-2300 FAX: 06-6445-2310 E-mail: info@gill.jp

〒550-0004 大阪市西区御本町1-14-18
GILL 日本総代理店 株式会社 フォーチェン

<http://www.gill.jp>



病院部門

北柏リハビリ総合病院(247床)

健診センター

柏健診クリニック
汐留健診クリニック

クリニック部門

西浦眼科
まちや外科内科
梅郷整形外科クリニック(13床)
天宣会循環器・睡眠呼吸クリニック

介護老人保健施設部門

梅郷ナーシングセンター(124床)
北柏ナーシングケアセンター(120床)

介護老人福祉施設部門

みゆきの郷(120床)
流山こまぎ安心館(110床)

介護福祉部門

梅郷ナーシング居宅介護支援事業所
北柏リハビリ総合病院居宅介護支援事業所
居宅介護支援センターみゆき
居宅介護支援事業所 こまぎ安心館

訪問看護ステーション

北柏訪問看護ステーション

研究部門

日本成人保健医療問題研究所



天宣会グループ

「感謝な心」で
信頼の医療サービスを
ご提供いたします

〒277-0021 千葉県柏市中央町1-1 TEL 04-7167-6667(代表) www.tensenkai.or.jp

アスリートの
声が、育てるモノ。



「世界と戦う理想のフォームを維持し続けたい。」 室伏選手

「壁を超えてタテに落ちるシュートでゴールを決めたい。」 本田選手

「細かなステップワークにこだわるから素足感覚に近づけたい。」 福原選手

ミズノはさまざまなトップアスリートの声を聞きながら、その要望に応じています。世界で戦うアスリートたちの想いが生んだ技術は、やがてあなたのモノになります。

ミズノ製品は、
アスリートの声で
できている。



明日は、きっと、できる。

国際VHF無線用免許講習会

舵社主催
KAZI マリンスクール
海上特殊無線技士講習会を
10%割引で受講できます

**JSAFメンバー
限定割引**

専用申込書が必要です

お申し込みには、JSAF会員限定の専用申込書が必要です。専用申込書はJSAFホームページからダウンロードするか、KAZIマリンスクールまでお電話でご請求ください。

[お問い合わせ・申込用紙請求先]
JSAF外洋安全委員会ホームページ
jsaf-anken.jp/1-7-2.html
KAZIマリンスクール
TEL 03-3434-0941

必ず
JSAFメンバー
専用申込書と
お伝え下さい。

お申し込みは、 ファックスで、 JSAFまで

お申し込みには、JSAF会員限定の専用申込書に必要事項をご記入いただき、JSAF外洋安全委員会までFAXにてお申し込み下さい。

[受講申込みFAX送付先]
JSAF外洋安全委員会
FAX 045-544-5813

お支払はカード、 現金書留、 お振込等で

JSAF外洋安全委員会にお申し込み後、KAZIマリンスクールより受付確認の連絡を入れさせていただきます。その際にお支払方法をご指定ください。各種クレジットカード、銀行振込、現金書留でのお支払がご利用いただけます。また、システムKAZI会員の方はシステムKAZI自動引き落としもご利用いただけます。

第2級海上特殊無線技士 軽減コース

[受講料] 29,000円 ▶ **JSAF会員
限定価格 26,100円** (税込)
(免許申請料、教科書代含む)

第2級は国際VHF25WまでとDSCの運用が出来る資格です。軽減コースは第3級からのステップアップコースで、第3級海上特殊無線技士資格を持つ人のみ受講可能です。1日7時間の講習を受講し、終了試験に合格すると資格を取得できます。

第29回
大阪
教室
2014.7.6 (日)
AM9:00-PM7:30

[会場] いずみさの閑空マリーナセミナールーム
大阪府泉佐野市りんくう往来北6番地
(いずみさの閑空マリーナ共催)

[定員] 50名 (定員になり次第閉め切らせていただきます)

第30回
名古屋
教室
2014.8.24 (日)
AM9:00-PM7:30

[会場] ゼミナールプラザ第七会議室
名古屋市中区正木 3-7-15

[定員] 40名 (定員になり次第閉め切らせていただきます)

第3級海上特殊無線技士

[受講料] 24,000円 ▶ **JSAF会員
限定価格 21,600円** (税込)
(免許申請料、教科書代含む)

国際VHF、5Wまでの運用ができる資格です。1日6時間の講習を受講し、修了試験に合格すると資格を取得できます。どなたでも受講できます。

第43回
東京
教室
2014.9.28 (日)
AM9:00-PM6:30

[会場] LMJ 東京研修センター 5F 特大会議室
東京都文京区本郷 1-11-4 小倉ビル
(東京ドーム近く)

[定員] 50名 (定員になり次第閉め切らせていただきます)

第44回
大阪
教室
2014.10.5 (日)
AM9:00-PM6:30

[会場] 此花会館 402、403号
大阪市此花区西九条 5-4-24

[定員] 50名 (定員になり次第閉め切らせていただきます)

- 最新の講習会日程については、KAZIホームページをご覧ください。
- 各回定員になり次第締切となります。●申込書をご送付いただいた場合でもお断りする場合があります。
- 受講料入金時をもって正式申込みとさせていただきます。●完全予約・定員締切制のため正式申込み後の日程変更および返金はできません。

受講申込みFAX送付先
JSAF外洋安全委員会

FAX 045-544-5813

リオデジャネイロ選手強化 協賛社



関西ヨットクラブ

医療法人 健育会グループ

J-Will Partners



巴工業株式会社



ラジエ工業(株)

環境キャンペーン 協賛社

外洋キャンペーン 協賛社



JFE

YANMAR



TAFCO



TECHNOHILL

テクノヒル株式会社

平成26年度賛助会員



日東ベスト株式会社



豊田自動織機



トヨタ自動車東日本株式会社
TOYOTA MOTOR EAST JAPAN, INC.

マリンサービス児嶋

BASIC



MISAKI MARINE



ゼンナ海洋サービス株式会社



LAGUNA MARINA



めいし日本



YAMAHA

YANMAR



スバル興業(株)
東京夢の島マリーナ



www.0028.jp



グローリアツアーズ株式会社



ace insurance



PERFECT
RISK
FOLLOW

日本興亜損保

株式会社宅配

ThreeBond

Benesse

丸大食品



Performance Sailcraft Japan



NO.107

レース艇 (Monday Night) から見た沖縄-東海レース
2014のスタートシーン。今年は12艇がスタートラインを
切り、全艇が無事にフィニッシュした(写真/中嶋一成)

デジタルの普及によって情報の流れが一変しました。従来、個人は情報の受け手という役割でしたが、いまやSNSの普及も相まって、情報流通の主導権は個人となったと言ってもいいでしょう。このような中でコミュニティを維持強化していくためには、個々との関係を築き、価値を提供し続けていかなければなりません。JSAFのホームページが新しく

生まれ変わります。会員のみならず、セーリングに関心がある全ての方々へ、『情報のハブ』を目標として価値を提供して参ります。今後も機能・コンテンツは随時拡大していきますが、まずは是非つけてみてください。http://www.jsaf.or.jp/

(柳澤康信/広報委員会委員長 J-SAILING 編集長)



J-SAILING No.107 平成26年6月25日発行 通巻461号 昭和42年12月25日第三種郵便物認可
発行/公益財団法人日本セーリング連盟広報委員会 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2357 ファクス 03-3481-0414 E-MAIL head@jsaf.or.jp
発行人/河野博文 編集人/柳澤康信 編集スタッフ/エディター・豊崎謙、フォトグラファー・中嶋一成、デザイナー・加瀬倫有
定価/300円(JSAF会員は会費に購読料が含まれています)
www.jsaf.or.jp



45 α

フォーティファイブ・アール R-shop 渋谷店

東京都渋谷区神宮前 6-19-16 越一ビル 1階 TEL 03-5468-0045 営業時間 11:30~20:00

www.45rpm.jp

JAPAN AIRLINES



新しい翼で、世界の空へ。



明日の空へ、日本の翼



昭和42年12月25日第三種郵便物認可 平成26年6月25日発行 通巻461号

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION

定価300円

NO.107